西日本サイディング・News
2022年（令和4年）11月30日（第194号）

発行
西日本サイディング事業協同組合
事務局
〒542-0081 大阪市中央区南船場2-10-28 NKビル（旧下村ビル）6F
TEL 06-6121-7302
FAX 06-6121-7303
URL:http://www.ksk-net.jp/

サイディング工事業者の特定技能外国人受け入れが可能に

人材確保に悩む組合員企業に朗報

これまで業種の制約によって不可能であったサイディング工事業者による特定技能外国人の受け入れが可能になる見込みだ。国土交通省による業務区分の見直しを受けて、全国サイディング事業協同組合連合会は受け入れ環境を整えるため（一社）建設技能人材機構（ＪＡＣ）への正会員加盟を決定し、申請を行った。正会員登録が完了すれば当組合員は特定技能外国人を雇用できる。

特定技能制度とは？　技能実習制度との違いは？

外国人は、出入国管理及び難民認定法（入管法）が定める在留資格（ビザ）の範囲内で就労活動が認められている。特定技能制度と技能実習制度はいずれも就労のための在留資格であるが、目的が明確に異なる。

・技能実習制度…開発途上国の人々に技術や知識を身に付けてもらい、母国でその技術を生かし、広めてもらうという国際貢献が目的。受け入れには「監理団体」や「送り出し機関（外国人を紹介する機関）」が関与する。

・特定技能制度…人材難を課題とする産業分野で専門性・技能を持つ外国人を受け入れるもので、人材確保が目的。建設分野で特定技能人材を受け入れる場合は（一社）建設技能人材機構（ＪＡＣ）に直接的・間接的に加入する必要がある。

なぜこれまで特定技能外国人を受け入れられなかったのか？

特定技能は平成30年の入管法改正で創設された在留資格である。しかし同制度では職種が限定されており、サイディング工事は含まれていなかったため、サイディング工事店は門前払いのような状況であった。

この状況が一変したのが令和4年8月30日の閣議決定である。国土交通省で業務区分が見直され、建設分野の建設業に係る全ての業務で特定技能による受け入れが可能となった（※詳しくはＰ．2の記事を参照）。

特定技能がサイディング業界でようやく〝使える〟制度となったため、当連合会では組合員企業が円滑に人材確保を進められるよう早急に動いた。受け入れのために必要とされるＪＡＣへの加入である。すでに申請は済んでおり、年内のＪＡＣ理事会で決議され、正会員に加入・登録となる運びである。

ＪＡＣ加入で得られるメリットとは？

ＪＡＣは、国土交通省が認定する「特定技能外国人受入事業実施法人」であり、建設分野の外国人受け入れに当たり、建設技能者全体の処遇改善、ブラック企業の排除、失踪・不法就労の防止、人材確保などの課題に対応するための機関である。

当連合会がＪＡＣに加入することにより、所属する東日本、西日本、九州の各事業協同組合の組合員企業はこれまであきらめるしかなかった特定技能での受け入れが可能となるわけである。当連合会が正会員としての会費を負担しているため、組合員企業に何らかの費用負担が課せられることもない。

この流れをきっかけに業界の好循環を

今後特定技能外国人の受け入れが進み、個々の組合員企業において人材不足がある程度解消に向かうことが期待される。受け入れを希望してサイディング事業共同組合に加入する企業が出てくることも考えられ、われわれ連合会の組織増強にもつながろう。そこからサイディング業界の活性化や地位向上、さらには賃金底上げなどの好循環につなげていくことができるかどうかは、当連合会や業界の努力にかかってくるであろう。

そら豆をモチーフにした、ふっくらと丸みのあるデザインがユニークな「ビーンズタイル」。植物が描きだす曲線こそは、古来より愛されてきたフォルムであり、アール・ヌーボー様式の建築など様々なデザインに用いられてきた造形。自然界の美しくしなやかなラインを手に入れることで、これまでの窯業外壁材にはない趣のある外壁材を生み出しました。陶器を思わせる上質感は、表面に施したスクラッチとケイミュー独自のグラデーション塗装のなせる技。自然のぬくもりと重厚感ある表情が住まいにワンランク上の高級感を与えます。

ネオロック・光セラ16／親水セラ16 | ビーンズタイル グラデーション塗装

暮らしをまもる 住まいを魅せる
ケイミュー株式会社
■大阪営業所 〒540-6013 大阪市中央区城見1丁目2番27号 クリスタルタワー13F
■神戸営業所 〒650-0031 神戸市中央区東町126 神戸シルクセンタービル8F
■京滋営業所 〒601-8127 京都市南区上鳥羽北花名町34番地

WHAT'S MORE 特定技能 外国人 受け入れ

業務区分について

建設分野の特定技能の業務区分を19から3に再編する閣議決定

前ページでも触れた通り、令和4年8月30日、建設分野の特定技能の業務区分が再編され、19区分から3区分に統合されることになった。

従来の業務区分では、・19区分と細分化されており、業務範囲が限定的

・建設業に係る作業の中で特定技能に含まれないものがある

という点が問題視され、該当専門工事業団体等から特定技能の対象に含めるよう要望が寄せられていた。ある区分で特定技能の資格を取得してもその業務以外に携わることができない、あるいは技能実習対象なのに特定技能にない職種がある、などの不整合も生じていた。

再編後は次のようになった。

・業務区分を「土木」「建築」「ライフライン・設備」の3区分に統合し、業務範囲を拡大

・建設関係の技能実習職種を含む建設業に係る全ての作業を新区分に分類

・特定技能外国人の安全性確保等の観点から、専門工事業団体と特定技能外国人受入事業実施法人の連携により訓練・各種研修を充実

この再編により、「建築」の区分には旧19区分に含まれていなかった「タイル・れんが・ブロック工事業」も加わり、ここに属するサイディング工事の作業で特定技能外国人が従事できるようになった。

特定技能外国人になるには二つのルートがあり、5年の在留資格を得る「特定技能1号」から試験などを経て「特定技能2号」得ると、在留期間の更新上限がなくなり、家族の帯同も可能になる。従って外国人にとっても受け入れ企業にとってもメリットの多い制度である。

技能実習制度について

外国人の技能実習制度も見直しへ

開発途上国への技術移転を目的とした外国人技能実習制度について、本格的な見直しが図られようとしている。技能実習制度の実態が本来の国際貢献という基本理念とかけ離れ、労働環境が厳しい業種を中心に人手を確保する手段になっているという指摘はかねてからあった。

今年7月、法務大臣は「目的と実態に乖離がない仕組み」づくりなどを打ち出し、有識者会議を設置して具体的な制度設計を検討するとした。今年2月から法相によって特定技能制度の課題を洗い出す勉強会が開催され、専門家から意見が聴取された経緯がある。

技能実習については、実際には人手不足を補う制度として機能しており、実習生が不当に高額な借金を背負って来日しているケースも見受けられ、実習先で不当な扱いを受けても相談できない実情があるなどの問題点が指摘された。

また、「正面から労働者を受け入れる制度とすべく、特定技能制度に一本化を図るべきでは」「技能実習から特定技能、技術・人文知識・国際業務といった高度人材まで一貫したシステムが必要」といった見解もあった。

見直しに向けた基本的な考え方は、①制度の趣旨と運用実態に乖離がない仕組み②実習生も十分な情報を得られ、人権侵害が起きない仕組み③日本で働き暮らすことで外国人の人生にも日本にもプラスになる仕組み④外国人との共生のあり方を考えた制度――の4点である。

11月22日、制度見直しのための有識者会議が設置された。年内には初会合が開かれ、具体的な議論が始まる。政府は令和5年秋頃をめどに最終報告をまとめるとしている。

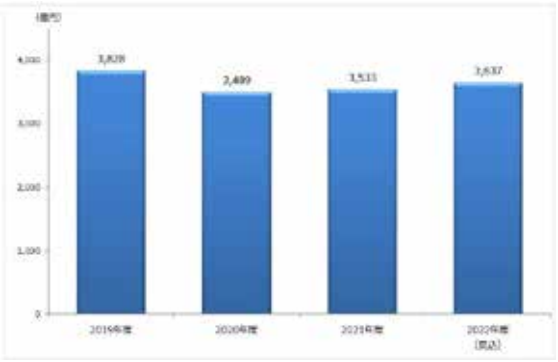
TOPIX

外壁材市場、前年比101・3% 窯業サイディングは回復へ

11月14日、国内の外壁市場調査で、市場規模や分野別動向などが公表された(矢野経済研究所)。

2021年度の外壁材市場規模（窯業サイディングほか、外壁仕上塗材の7分野合計)は、前年度比101・3%の3，533億円と推計された。新設住宅着工の回復に伴い、戸建て住宅向けの窯業および金属サイディングなどの市場が回復した。一方で押出成形セメント板やALCなど非住宅向け外壁材は、コロナ禍以後、ホテル向けなどインバウンド需要に支えられてきた用途の需要消失が影響し減少が続いている。

2022年度の外壁材市場規模は、前年度比102・9%の3，637億円を見込んでいる。



実は知らない!?
用語辞典
Vol.10

「熱を逃がさない」ことが冬の暖かさを左右 どれだけ家の断熱性が高いかが分かる指標
「断熱性を表す指標・UA値」

住宅の省エネルギー基準において、断熱性を表す指標として用いられているのがUA値である。UA値とは「外皮平均熱貫流率」のことで、壁体状の建築部位の熱の通りやすさを表す。UA値が小さければ小さいほど断熱性が高い（熱が外に逃げていない）ことになる。UA値は「各部位の熱損失量の合計÷延べ外皮面積」で求める。単位は「W／㎡・K」。Wが逃げる熱量、㎡が外皮面積、Kが室内の温度差を表す。

国交省では全国を8地域に分類し、各地域における基準値を公表している。これまでは最高値が「等級5」だったが、省エネ基準の改正により令和4年10月から「6」「7」が新設された。例えば大阪では、等級4のUA値は0・87だが、等級7では0・26となる。

今日つれづれ

神戸　睦史〈ハウゼコ〉

大阪ミナミの繁華街に、賑わいが戻ってきた。豚まんで有名な551の蓬莱や、焼きたてチーズケーキのリクローおじさんには長蛇の列ができはじめている。新幹線の乗車率も高くなり、ホテルの値段も高くなった。出張時には、各自治体のいらっしゃいキャンペーンで3000円頂戴した。借金まみれの国からこんなに頂いて果たして良いのだろうかと思いながら美味しいものを食べさせて頂いた。国内観光客と国際観光客が増えて活気が戻ってきた。

大阪の繁華街ミナミの商店街には空き店舗が多かったが、最近新しい店のオープンラッシュになっている。

大阪の2大繁華街キタとミナミを南北に貫く御堂筋では、大規模な工事が始まっている。

2年前から、御堂筋の終点の難波駅前の道路を封鎖して、歩行者天国への工事を行っている。

2025年の大阪万博までには、御堂筋全体の歩道を現在の約三倍に広げる予定で、すでに工事が始まり、6車線道路が4車線になっている。それに伴って渋滞が頻繁に起こるようになり、タクシーの運転手さんは嘆いている。

そして、御堂筋将来ビジョンとして、なんと！2037年には、御堂筋すべてを終日歩行者天国にする予定らしい。そんなことしたら、たくさんの飲食店への食材等の納入は、至難の業になると思う。御堂筋に面した高層ビルの建て替え工事は、ほぼ不可能に近い。パリのシャンゼリゼ通りに匹敵するストリートとして国際的にも評価が高く世界のほとんどのブランドショップが集積する御堂筋だが、これからどのようになるのか？怖さ半分、楽しみ半分といったところだ。

さよなら継ぎ目。メンテナンスも、当分さよなら。

未来へ受け継ぐ新世代外装材
Fuge フュージェ
美しい佇いを、
住まいにいつまでも。

GOOD DESIGN AWARD
2014年度受賞

素晴らしい人間環境づくり
NICHIHA ニチハ株式会社
商品のお問い合わせ、ご相談は、最寄りの弊社営業所または下記お客さま相談室にお問い合わせください。
【お客様相談室】TEL(052)220-5125 FAX(052)220-5157【受付時間】月～金 AM9:00～PM5:00(土・日・祝日・年末年始・お盆休みを除く)

協会だより

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（8月）

日時 10月19日（水）15：30～17：00
場所 Ｚｏｏｍによるオンライン会議

□広報部会

サイディングニュース11月号の内容検討
・巻頭記事として、「特定技能制度」の概要と業界における特定技能外国人の受け入れについて解説。
・組合員インタビュー先の検討、その他トレンドニュース　など

□役員会

○全国サイディング事業協同組合連合会にて開催の理事会議事からの報告
・値上げおよび職人単価に関する情報共有。
・特定技能制度について、外国人受け入れに向け連合会が（一社）建設技能人材機構（ＪＡＣ）への加入申請を行うことになった。

□情報交換会

各社近況報告

大阪で健康診断を実施

日時 10月17日（月）
場所　ますむらクリニック（門真市）
・例年通り健康診断を実施いたしました。

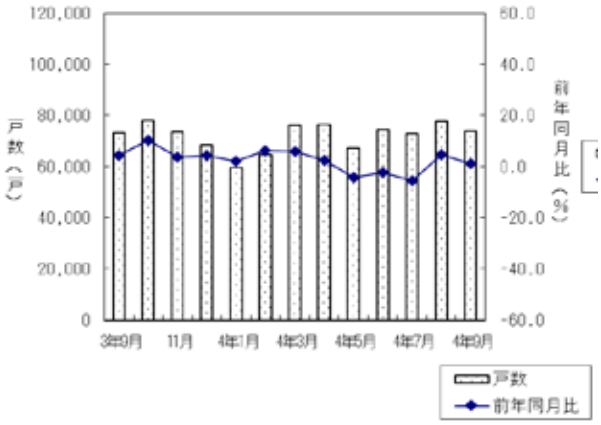
今後の予定

役員会・広報部会・情報交換会のご報告（8月）

日時 10月19日（水）15：30～17：00
場所 Ｚｏｏｍによるオンライン会議

建築物着工統計
（2022年９月の動き）

９月の新設住宅着工は，持家は減少したが，貸家及び分譲住宅が増加したため，全体で前年同月比1.0%の増加となった。また，季節調整済年率換算値では前月比5.1%の減少となった。



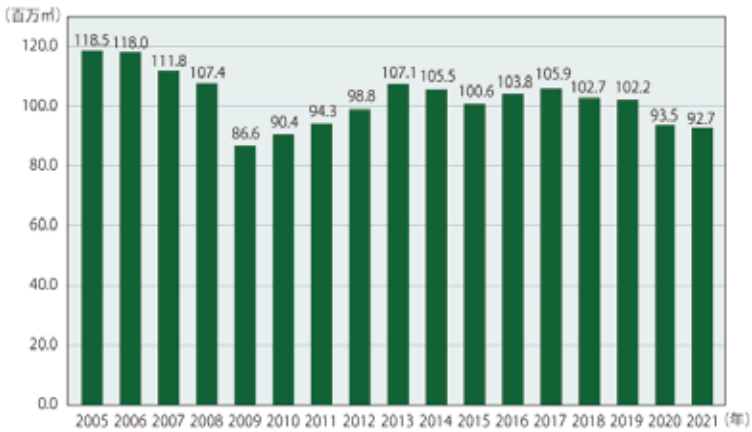
新設住宅総括表

		戸数			床面積の合計		
		戸	対前月比(%)	対前年同月比(%)	千平方メートル	対前月比(%)	対前年同月比(%)
	新設住宅計	73,920	△4.9	1.0	5,844	△5.4	△2.8
建主別	公共	372	△51.3	△36.7	24	△47.8	△32.8
	民間	73,548	△4.4	1.3	5,820	△5.1	△2.6
利用関係別	持家	22,248	△0.2	△13.3	2,573	△0.8	△14.2
	貸家	30,555	△2.4	8.1	1,401	△2.8	9.0
	給与住宅	351	△63.2	△14.4	31	△47.1	△4.0
	分譲住宅	20,766	△10.4	10.1	1,838	△11.8	8.4
資金別	民間資金	68,322	△3.2	1.8	5,329	△4.5	△2.3
	公的資金	5,598	△21.7	△7.9	515	△13.9	△7.8
	公庫住宅	360	△46.4	△29.8	23	△42.5	△25.7
	住宅金融機構融資住宅	2,493	△8.2	△14.1	257	△6.9	△12.1
	都市再生機構建設住宅	0	△100.0	－	0	△100.0	－
	その他の住宅	2,745	△25.3	3.2	235	△15.3	△0.1
構造別	木造	42,381	△1.3	△6.1	3,947	△0.6	△7.5
	非木造	31,539	△9.3	12.4	1,896	△14.1	8.6
	鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	283	△25.3	△27.1	12	△44.0	△39.6
	鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造	20,577	△9.5	20.6	1,128	△18.1	18.8
	鉄骨造	10,540	△9.1	0.2	745	△7.0	△3.0
	ｺﾝｸﾘｰﾄﾌﾞﾛｯｸ造	48	37.1	23.1	4	32.0	23.6
	その他	91	102.2	85.7	7	23.3	57.5

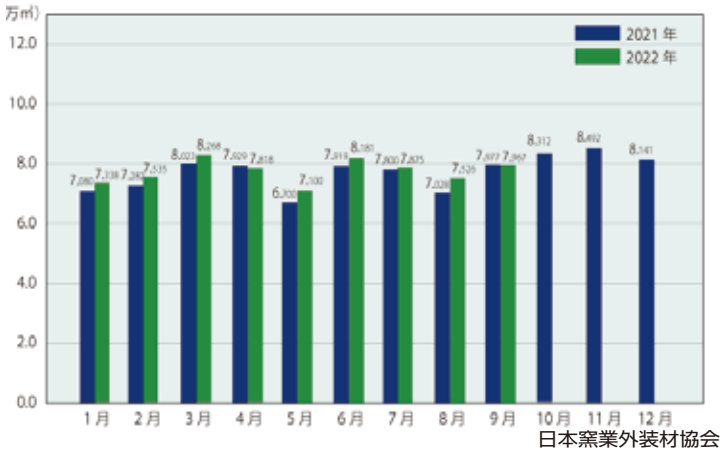
※国土交通省 建築着工統計（2022.8.31 発表）より
http://www.mlit.go.jp/report

窯業系サイディング販売量

年度別販売量



月度別販売量



日本窯業外装材協会

施工品質の最高峰をめざし感謝の気持ちで信頼に応える
サイディング工事の神保工業所

有限会社神保工業所
〒630-2342
奈良県山辺郡山添村広代651
TEL. 0743-85-0036
FAX. 0743-85-0019
E-mail : info@kanbo.jp.net